

令和 7 年 1 0 月 1 4 日

八潮市長 大 山 忍 様

八潮市振興計画審議会
会長 山 田 洋

第 6 次八潮市総合計画（素案）について（答申）

令和 7 年 1 月 7 日付け八潮企第 2 4 5 号で諮問のあった第 6 次八潮市総合計画（素案）について、活発に議論し、慎重に審議した結果、概ね妥当と認め、下記を付帯意見として別添のとおり答申します。

記

1 総 論

本市の人口は平成 1 7 年のつくばエクスプレスの開通以降、増加傾向にありますが、日本全体では人口減少・少子高齢化が進み、本市においても将来的には人口が徐々に減少に転じることが想定され、人口構造の変化に伴う様々な影響が考えられている。

また、激甚化する自然災害などへの対策、集約と連携による地域共生社会の実現、カーボンニュートラルの実現、変化する経済、労働環境への対応、デジタル社会の実現、SDG s の推進など、多様化・複雑化する行政課題に対し、市政を総合的かつ計画的に推進することが必要となっている。

このことを踏まえ、第 6 次八潮市総合計画の推進にあたっては、将来都市像である「住みやすさナンバー 1 のまち 八潮」の実現に向け、市民一人ひとりにとって、住むこと、住み続けることを誇りに思えるまちを目指して、着実に取り組んでいただきたい。

2 基本構想

- ・多文化共生やダイバーシティ社会の実現、自然災害の激甚化・頻発化など、まちづくりの基本理念である「共生・協働」「安全・安心」の重要性がさらに高まっているため、引き続き、まちづくりの基本理念を踏まえた施策の推進に努められたい。
- ・多様な価値観や考え方を積極的に導入していく「彩り」と社会の様々な変化に迅速かつ柔軟に対応していく「しなやかさ」の 2 つの新たな視点については、あらゆる施策において取り入れていただき、積極的に推進されたい。

3 基本計画

■第1章 子育て・教育・文化

- ・こどもまんなか社会の実現を目指し、全てのこどもが幸せになれるよう子育て支援の充実等に努められたい。
- ・急速かつ激しく変化する社会に対応できるよう、生きる力をより一層はぐくむことに努められたい。
- ・誰もがあらゆる分野で活躍することができる社会を目指し、多様性を認め、受け入れ、活かすことができるよう、ダイバーシティ社会の啓発や環境づくりに努められたい。

■第2章 健康・福祉

- ・誰もが心身ともに健康で楽しく毎日が過ごせるよう、食生活やスポーツなどの日々の健康づくりを意識した生活スタイルの促進など、主体的な健康づくりの支援に努められたい。
- ・地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けて、地域の課題解決に努められたい。

■第3章 防災・防犯・消防

- ・あらゆる組織との連携により、防災体制の充実を図るとともに、市民の防災意識を高め、地域防災体制を強化するなど、災害に対する強さとしなやかさを兼ね備えるまちづくりに努められたい。
- ・犯罪防止対策の強化や交通安全対策の推進など、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努められたい。
- ・市民が安心して暮らせるよう、草加八潮消防組合との連携の強化や支援の推進により、消防力の充実・強化に努められたい。

■第4章 産業経済・観光

- ・農業、商業、工業、観光などの産業領域において、地域経済の活性化を図るため、競争力の高い産業づくりに努められたい。
- ・恵まれた地域の特性や魅力を最大限活用し、人々が行き交うにぎわいと活力のあるまちづくりに努められたい。

■第5章 都市基盤・環境

- ・全国的にインフラの老朽化の課題が顕在化しており、インフラの老朽化を起因とする事故が発生していることを踏まえて、市民の安全・安心、快適な生活環境の整備のため、適切な維持管理・更新に努められたい。
- ・ゼロカーボンシティの実現には、市民一人ひとりが環境への配慮に取り組む必要があるため、積極的に意識啓発をするなど、施策の推進に努められたい。

■第6章 コミュニティ・自治体経営

- ・地域のつながりの希薄化など、地域に対する市民の意識や考え方が大きく変わった現代においては、地域社会のコミュニティ機能が低下傾向にあるため、地域コミュニティ活性化の促進に努められたい。
- ・シティセールスを推進し、地域の活性化や更なる都市イメージの向上に努めるとともに、デジタル・トランスフォーメーション（DX）やアセットマネジメントの推進、民間活力の導入などによって、限られた経営資源を有効に活用し、健全で効率的な自治体経営に努められたい。